

広報広聴事業

市民との意見交換会

実施報告書



—目次—

1. はじめに
2. 開催概要
3. 報告内容（当日配布資料）
4. 参加者からの質問及びご意見
5. アンケート集計結果
6. 資料
7. 最後に

1. はじめに

平成 27 年 4 月の統一地方選挙で第 19 期が始まり、「広報広聴委員会」と名を改め、一層の議会改革へと進んで参りました。

中でも「市民との意見交換」は、前半 2 年間に踏まえ、後半 2 年間も充実した場にすべく委員一同、一丸となって試行錯誤を経て実行してきたところです。

他市町村の事例や市民の方々のご意見を大いに参考にさせて頂き、今任期では最後となる第 6 回意見交換会は、5 月に開催した 4 カ所とは異なる会場といたしましたところ、多くの市民の方にご来場いただくことができました。大変うれしく、心より感謝申し上げます。

各会場では前回同様、活発なご意見、お叱り等、日頃感じられていることを忌憚なく発言して頂きました。

皆様から頂戴した多様なご意見を真摯に受け止め、しっかりと検討協議していく中で市民の代表としての議会の機能を果たしていきたいと考えております。

平成 31 年 4 月の統一地方選挙で誕生する第 20 期のメンバーのもと、「市民との意見交換」のさらなる充実を祈願し、多くの皆様の参加をお待ちしています。

岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長 酒井和子

副委員長 樽舘竜哉

委員 伊澤幸信

太田博之

豊岡義博

大和 勝

山田靖廣

池島和行

2. 開催概要

■実施日時

平成30年11月21日（水）18時より

■開催場所

- ①生涯学習センター いわなび
- ②北村環境改善センター
- ③栗沢文化センター
- ④幌向総合コミュニティセンター ほっとかん

【事業内容】

市議会議員を任意の4グループに分け班を編成した上で、議会より大まかな話題提供を行い、それに関する意見交換を実施。その後、参加された皆様より市政全般に関わる自由な問題提起及び意見交換を行いました。

【班編成】

班	代表	司会	構成メンバー		
①	山田靖廣	豊岡義博	石黒武美	古石英仁	増山宣之
②	太田博之	池島和行	齊須正友	篠原藤雄	谷口洋一
③	酒井和子	大和 勝	井幡修一	野尻 清	峯 泰教
④	伊澤幸信	上田久司	大坂龍起	笹島清一	平野義文

【来場者数】

会 場	人数
生涯学習センター いわなび	12名
北村環境改善センター	30名
栗沢文化センター	6名
幌向総合コミュニティセンター ほっとかん	8名

■合計人数 56名

【アンケート回答者数】

54名（回収率96.4%）

3. 報告内容（当日配布資料）

総務常任委員会

◆ 重点施策（抜粋）

◇ 市民連携活動事業

平成26年に空き家等の適正な管理に関する条例を制定し、空き家問題に取り組んできた。
＜空き家対応＞・・・通報時の状況確認／登録空き家のパトロール／現場写真を同封した
上での指導書送付

なお、本年6月に実施された「岩見沢市空家等対策計画」に基づき、空家等対策を総合的かつ計画的に推進するとともに、特定空き家等判定基準や不良度判定基準を設定し、専門家の判定により空き家の状態を明確化

＜管理不全な空き家の物件数＞

年度	登録空家数	新規登録	解体	居住有	管理不全解消
H27	201	45	11	10	3
H28	201	26	12	13	1
H29	208	26	12	8	3

◇ ふるさと納税の状況

ふるさと岩見沢に対する思いを、寄附金という形で実現できる、国の「ふるさと納税制度」の活用により、岩見沢市を全国にPRするとともに、まちづくりの充実を図る。

＜寄附の実績＞

年度	件数	金額
H27	1,359件	17,192,000円
H28	8,212件	192,930,111円
H29	17,876件	443,479,559円

◇ 児童の預かりと子育て支援の輪の充実

- ・放課後児童クラブの対象学年を小学校6年生まで拡大
- ・ファミリー・サポート・センターの開設（平成30年10月）

急用などで、子どもを預けたい人とそれを応援したい人の連絡・調整を行い、子育て支援の充実を図る。

＜利用対象＞ 生後3カ月から小学6年生まで

＜サポートの具体例＞

保育園の開始前や終了後の預かり／放課後児童クラブ終了後の送迎／

冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の預かり／買い物等の外出等の預かり

民生常任委員会

◆ 重点施策（抜粋）

◇ 健康ポイント事業

市民一人ひとりの健康づくりの取り組みや健診受診などにポイントを付与し、市民の主体的な健康づくり・健康管理を支援する。

- ポイントカードの発行対象者・・・18歳以上の市民
- ポイントをためる・・・・・・・・健康診断、人間ドック、各種がん検診、市が実施する健康づくり事業など
- 商品券と交換・・・・・・・・50ポイントで1,000円分の商品券と交換

◇ いわみざわ健康ひろば

中心市街地の第2ポルタビル1階に平成29年4月1日に整備された、市民の健康を「まもる」、「つくる」、「つなぐ」をテーマにした健康づくりの拠点となる施設

<主な事業>

実施日	事業名	事業概要
毎 日	健康測定	血圧、体組成、血管年齢、骨健康度
	アール・ブリュット展示	主に障がい者の芸術作品を常時展示
	コミュニティスペース	バス待ち、昼食等に利用可能
毎週火曜日	健康チェックの日	保健師、管理栄養士、歯科衛生士が健康相談
毎週木曜日	北大 COI の日	乳幼児健康測定、介護予防体操など
月 1 回	フードディ	地元食材を使った離乳食など、健康メニューを紹介

◇ 墓地霊園管理事業

緑が丘霊園納骨塚（供用開始：平成29年10月）

- 収蔵数・・・3,000体
- 使用料・・・12,000円（焼骨1体）

◇ 新市立総合病院建設事業

総合病院の本館は築34年を経過し、高度化、多様化する地域の医療ニーズへの対応や療養環境にも課題があるため、新病院への建設に向け、調査、基本構想策定などを行う。

経済建設常任委員会

◆ 重点施策（抜粋）

◇ 公募型プレミアム付商品券等発行支援事業

地域経済の好循環の促進

- ・プレミアム商品券
- ・プレミアム建設券

◇ 観光振興戦略推進事業

今年4月1日リニューアルオープンしたメープルロッジを中心とした東部丘陵地域の観光振興、大都市圏及び海外への観光プロモーションの強化

◇ 除排雪事業

市民の安心・安全な暮らしを維持するため、迅速かつ機動的な除排雪体制の確保のため、除排雪用機械の計画的な更新を進めるとともに、地域や事業者との連携を化し、総合的な雪対策の推進

<予算の推移>

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
7.9億円	9.9億円	10.9億円	13.3億円	13.2億円	13.4億円	13.3億円

◇ ICT農業普及促進事業

ICTなど先端技術を活用し効率化、省力化、生産性や品質の向上を目指すスマート農業の実現に向け、ICT関連機器の導入に対する支援

4. 参加者からの質問及びご意見

注： ご意見・ご質問は紙面の都合上、要約させていただきます。

また、類似のご意見・ご質問は集約し、表現もより分かりやすくし、当日、答えきれなかった部分に加筆・訂正しております。

商業関係について

Q **いわなび** 空き店舗について、商業集積を目指した再利活用をしていくことは可能でしょうか。

A 市内の空き店舗については行政もその地域や出店する業種によって補助金を出しています。また、平成28年4月から創業塾や開業の相談窓口を開設しており、平成30年10月までに37の店舗ができています。これからどんどんそういった形のをふやしていき、市民の方々に興味を持っていただきたいです。

Q **いわなび** プレミアム商品券について、企業がこの事業に参入するハードルがすごく高いです。地元のお店で使えるようにするためにそのハードルを考えてほしい。商店街の、特に組合に入っていないお店には全く恩恵がありません。

A この事業に参加したい方がいれば特別お金も掛からずに入れます。

Q **いわなび** 昔、岩見沢市は空知の中心と思っていましたが、今はその中心がなくなってるように感じます。商店街もシャッター街になっているため、活性化させてもらいたいです。郊外に大型店ができた影響もありますが、まちなかに駐車ができないので時間を限定して道路に駐車できるようにするなどすれば、車を置いて買い物ができるのではないのでしょうか。

A 確かに他市では制限付きで道路に駐車帯をつくっているところもありますが、当市では規制や道幅の問題で難しいという事情もあるようです。また民間の駐車場では、商店街で買い物をすると駐車料金が割引になるというシステムもあるようです。そういう点で工夫は必要とは思っています。

Q **栗沢** 合併して約15年になりますが、栗沢のまちもシャッター街です。栗沢の住民にはなんとかしなければならないという危機感がありますが、しかしながら何をすればという答えも見当たらないなかで、この現状を何とかしてほしいという気持ちがあります。大きな問題も大事ですが、栗沢にも目を向けていただき

たいです。

- A 北村も栗沢もそうですが、議会や市役所だけでなく、住民のみなさんと相談をし合いながら進めていかなければならないと思っております。

災害について

- Q **いわなび** 今年の地震で避難所となっている学校の給電設備、特に比較的新しい光陵中学校には発電機がないのに避難所になっていました。避難所となっている以上各学校への給電設備を迅速に整えてほしいです。

また、備蓄物資についても各避難所で備蓄できる設備を備えてほしいです。

教育関係の情報は教育委員会のある「であえーる」に集まりますが、今回の停電では「であえーる」の復電が一番遅く、先生方への情報の一斉送信が間に合わず、先生方はそれぞれで連絡をとったという状況がありました。キーとなる施設については発電設備もしくは復電の迅速性を上げてほしいです。

- A 今回の地震において市内で指定されている50カ所の避難所のうち、10カ所を実際に避難所として開設されました。

発電設備の増設については地域バランスを考慮し、拠点となる避難所に整備を進めていく予定とのことです。

停電になって何を一番必要とするか、それを吟味すれば、大がかりな発電設備も必要かもしれませんが、スマホの充電などに使う小型の発電機も今後必要かと思います。

- Q **ほっとかん** 災害について、上幌向中学校が避難所に指定されていますが、9月の災害時は当初指定されていた避難所は自家発電機がなく途中で別に移ったと聞いています。何か起きた時の避難所、拠点というのは大事な所なので発電機のあるないにかかわらず、開設しておくべきだったのではないのでしょうか。

また、地震の前の台風で防風林が倒れてしまい、切って処分されました。JRがやっていると思いますが、防風林は重要なので市議会の方でも配慮してほしいです。

- A 避難所の発電機については、例えば市の一部分で洪水となった際には他の場所から発電機を融通できると考えておりましたが、今回のような市全体のブラックアウトというのは想定しておりませんでした。今回の事を教訓として検証することで進んでおります。

また、倒木に関しては、市管轄の樹木で1,532本の倒木がありました。倒木だけで被害額は1億749万円に上るとのことです。これを全て直すわけで

はないので、植える必要のあるところは植えるという予算組みをしておりまして、そうでないところは当面見送るという形になっています。

Q **ほっとかん** 地震の際、水道が止まるというデマ情報が流れましたが、その際に市として市民に知らせるために何か行ったのでしょうか。また、そのことについて市議会での議論はあったのでしょうか。市民に知らせるためにいろいろな方法があったと思います。

A 9月6日午後から広報車5台での周知を図ったところですが、その情報伝達にも課題がありました。SNSについても市としての正確な情報としては非常に遅かったというのは反省点です。

Q **北村** 9月5日、6日に連続して災害があり、ブラックアウトという経験をした中で、議会ではそういったことを含めこういった災害が真冬に起きたらどうなるか、何らかの委員会の中できちんと検討されたことがあるのでしょうか。なければ、今後検討するようなことは考えていますか。

A 9月の災害について議会としてこれといった部分はありませんでした。議会としてもどうしたらよいのか、何ができるのかというものを議会の中で1度話し合う必要があるというふうに考えています。

また、岩見沢市はこのような大きな災害時には業務継続計画、BCPと言われるものに沿ってやってきましたが、議会側の業務継続計画も必要だと思っておりますので、それは前向きに取り組んでまいりたいと考えております。

Q **北村** 9月の台風被害では、市としての調査活動が余りなされてなかったような印象を受けます。機敏・機能性が必要ではないかと思えます。

A 市のほうから被害の発表がありましたが、情報収集という部分では足りなかったのかなと思っています。今後いろいろな災害が起きた場合、そういったものにも敏感になって対応していかなければならないと思っています。

ご要望として **ほっとかん** 9月の地震で全道的にブラックアウトになりましたが、北電の発電所を複数箇所に分けるように市議会から要望書の提出などを行ってほしいです。

ご意見として **ほっとかん** 岩見沢市は9月の地震の際も水道やガスも出て、災害に強いまちだと思います。過去の水害も教訓として活かしているし、そこで急にブラックアウト対策というのは話が大きすぎるかと思えます。国や道が行うことと

市町村では違って然るべきかと思います。

ふるさと納税について

Q **ほっとかん** H28からふるさと納税が非常に多くなっているようですが、どのように返礼品の充実を図ったのでしょうか。

A 主に岩見沢市の特産物を返礼品としており、その7割がお米として選ばれており非常に人気となっております。ふるさと納税のインターネットサイト「ふるさとチョイス」などにも掲載しています。

Q **ほっとかん** ふるさと納税の返礼品となっているお米の出どころと農家のメリットを教えてください。

A 市内生産の米を農協などの取扱事業者から発送しています。
農家の方のメリットとしては、間接的に知名度が上がるというのはあると思います。

Q **ほっとかん** 今年ふるさと納税がふえたとの事ですが、お米の量は問題ないのでしょうか。

A 問題ないと思われます。

Q **ほっとかん・北村** ふるさと納税で納められたお金の使途を教えてください。

A ふるさと納税を募集する際にどういう用途に使いますということを公表しており、岩見沢市は「ふるさとづくりの推進に関する事業」、「地域福祉に関する事業」、「青少年健全育成に関する事業」、「スポーツ・文化の振興に関する事業」、「農業振興に関する事業」、「観光振興に関する事業」の6つのいずれかの事業を納税時に指定していただき、それに基づいて基金に積み立て、各事業に充てています。

Q **北村** ふるさと納税が、平成29年が28年と比較すると倍くらいになっていますが、特別たくさん集まるような形で市のほうで働きかけたりとかしたのでしょうか。

A 岩見沢の返礼品の7割はお米で、そのお米が大変評判がよいということを聞いています。

また、今テレビコマーシャルでもふるさと納税をPRしていますので、そういった部分でも結構ふるさと納税をされる方がいるのかなと理解をしています。

Q **北村** ふるさと納税について、岩見沢市でもらう額と岩見沢市で控除を受ける額がわかればお願いします。

A 担当課に確認したところ、平成29年度のふるさと応援寄附実績につきましては、17,876件、4億4,347万円となっており、返礼品にかかる費用につきましては、返礼品の代金のほか、送料とクレジット決済手数料、業務委託料等を合わせて2億7,772万円を支出しており、寄付額から費用を除いた実質的な収入は1億6,575万円となっているとのことです。

また、岩見沢市民の他都市への寄付額は1,303件6,614万円であり、これに対する市民税の減収2,959万円を実質的な収入から差し引くと1億3,616万円と試算しているとのことです。

間口除雪・除排雪について

Q **ほっとかん** 間口除雪について、対象の条件があって高齢なのに該当しないという場合が多いので、もう少し枠を広げてほしいです。

A 間口除雪に関しましては、まだ始まって間もない事業でもあります。まずは制度全般を検証しながら進めていくことが必要と考えます。

Q **ほっとかん** 除雪について、公園や空き地への雪入れは雪を押し込んでも持つてはいかないのであまり進んでいないと思いますので、その辺の対策をさらにしていただきたいです。

A 遊休地や空き地を利用した地域雪堆積場について、堆積した雪をダンプトラックで運び出す雪取り作業は、雪割り作業と比べてかなり高額となるため、基本的に雪取り作業をしないような箇所を選定しているとのことです。

地域の交通機関について

Q **ほっとかん** コミュニティバスについて、栗山では町内のいろいろな所を200円で回れるそうです。どういう経緯で事業を始めたのかわかれば教えてください。

A 栗山町では平成2年に民間のバス路線の廃止に伴う代替措置として町中心部と周辺部を結ぶ町営バスの運行が開始されています。

栗山町中心部においても経路や便数が限られることなどから、地域との話し合いを経て平成28年12月に市街地周辺を運行する町営のコミュニティバスが開始されたと同っております。

Q **北村** 北村全体の人口が大幅に減少しています。その一つの理由は、高齢者にとって交通の便が非常に悪いことが考えられます。バス券の廃止により、病院や買い物に行くことが非常に不便になりました。特に人口の少ないところに住む高齢者の支援する方策というのが必要かと思えます。

A 交通の不便については全て予算がかかってきますので、地域の皆さん方とお話をしながら、決めていかなければならないと思っています。

バス券については、地域からは何とかそれをもう1回復活をとという話もいただいておりますが、福祉施策検討委員会の答申を受け、議会の中でも廃止する形になった次第です。

ご要望として **ほっとかん** 岩見沢市内で循環バスを幌向や北回りの路線をふやして欲しいです。

ご要望として **ほっとかん** 今後10年後を考えると車を運転できない方がふえると思います。地域で輸送できるような小型のバス等、主要施設を回ることでできる仕組みを自治体でつくっていただきたいです。

市議会について

Q **いわなび** たまに議会を傍聴に行くが、傍聴席からの発言は岩見沢にはありません。全国的にはやっているところもあります。一般質問後に関連したことに対して傍聴席からの発言もこれから出来るようにしていただきたいです。

A 傍聴席から市長に対しての質問をするということは全国であまりないと思いますが、海外ではその例はあるようです。その取り組みは一つの試みとして面白いかと思えます。

Q **いわなび** 議会事務局について、事務局は議員へのお茶汲みの為にいるというのを聞いたことがあります。事務局は議員のためでなく市民のためにあると思いますが、岩見沢市の状況はどうなっているのでしょうか。

A 議員で構成する会派ごとに、自分たちでコーヒーなどをいれております。昔、事務局職員ではなく、議員会で雇っていた臨時職員にお茶を入れてもらったということはありましたが、職員の業務はあくまでも議会の専門的な部門においての調査や議会運営等についてでございます。

Q **ほっとかん** 意見交換会資料に書いてある事業等は行政が提案したものであ

ると思います。この任期のなかで具体的に市民等の意見・要望から議会の中で意見を出し合ったという場はあったのでしょうか。

A 議会のルールの中では議員からも議案を提案することもできますが、近年では事業に関して具体的に議員提案したという案件はありませんでした。しかし、会派等でそれぞれ市側との意見交換・懇談会を年1回ないし2回は開いており、その際に市民からの意見を伝えており、市政に反映されている部分もあります。

Q **ほっとかん** 意見交換会資料をみると全て岩見沢全体についての資料ですが、せっかくそれぞれの地域で意見交換会を行うのであればその地域の議題があるのが意見交換会なのではないのでしょうか。

A 前回、今回と全会場で統一したテーマで行ってきています。開催時に出た意見・要望を後日議会だより等の形で回答しております。その開催場所ごとに議会側からテーマを示すというのは貴重なご意見として承り、検討いたします。

Q **栗沢** 議会広報について、議会だよりの中に議案審査について・原案可決などと言葉が並んでいますが、一般市民はなかなか理解をしにくいのではないかと思います。もうちょっと感心の持てるような斬新なデザインにできないものではないのでしょうか。また、中身で網掛けの部分がありますが、逆に読みづらくなっています。

A 議会だよりは今年から表紙をカラー化にするなど、少しでも見やすく、興味をもっていただけるように努力しています。おっしゃられたことを十分参考にさせていただきながら、より読みやすい議会だよりの作成に努めたいと思っております。

Q **栗沢** 市議会議員をアルバイトにして人数をふやすとどうかと思いますが、そういう考えはありませんか。職業議員はいらないのではないかと思います。

A 市議会議員は地方自治法での決まりで設置されておりますので、アルバイトとなるとそこから変えていく必要があるのかと思います。

Q **栗沢** 前回の議会広報で政務調査の報告が載っていましたが、調査の予算はいくらでしょうか。また、調査した内容を議員から市に提案・実現した案件があるのかどうか教えてください。

A 調査の予算は一人120,000円です。また、市への提案についてはFMラジオでの災害時の緊急放送や、民間の空き地への雪捨てなどを市に提案したという過去があります。

Q **北村** 9月の地震、またその前には当然台風の被害があり、市職員も対応が大変な時期でなかったかと思います。この時期に議会の第3回定例会が開かれました。他の市議会ではこの災害に対して緊急対応を優先させることで一般質問についても行わないなど、一部見直しをかけた所もあると聞いています。岩見沢市では一般質問を通告どおりに3日間にわたって行われました。必要性、緊急性を考えたときに議会としての動きはいかがだったのでしょうか。

A 第3回定例会は、少し日程をずらして開催をさせていただきました。確かにブラックアウトや台風での倒木等被害もたくさんありましたが、議会開催により市民サービスに甚大な影響が出るなどのことはない判断し、状況を精査して進めさせていただきました。

Q **北村** 各種意見書案の採決の際に傍聴席には標題は示されますが、具体的な中身がわからないので、その辺の改善をしていただきたいです。

A 議会運営委員会の中で協議をしてまいりたいです。

Q **北村** 今任期中に、議員の皆様方が、議会をもっとよくするためにこういうことが必要ではないかという協議を議会改革特別委員会等でどのようになされたのでしょうか。次のときにどういう宿題を持ち込むのかを含めてその動き等をお知らせください。

A 議会改革については、今それぞれの会派の幹事長が中心となって、幹事長会議の中で、いろいろ協議をしております。そこでまとまったものを議会運営委員会に諮るような形にしています。先例、慣例のいい部分は残しながら、時代に合わせた議会改革というのを進めるべきではないかと思います。

健康福祉について

Q **いわなび** 健康ひろばについて、普段目の前を通るといつもガラガラ。スタッフが多く、利用者が少ないのもったいないです。行政職員が率先して毎月利用することや、利用時間を変更するなどして利用しやすい運営を考えたらどうでしょうか。

A おっしゃるとおり市の職員にはぜひ進んで利用していただかなくてはと思います。また、利用時間についても今後働いている方々も利用できるような時間帯にできるよう、市の方に要望したいと思います。

Q **ほっとかん** 健康ポイントについて、平成29年度末では12,000人の登録ということですが、この人数は団体なのか個人での登録なのかお知らせください。

A 健康ポイントについて、参加者は個人で登録しており、平成30年11月現在で14,456人となっており、団体の登録数は475団体となっております。

Q **北村** 灯油が高くなっているため、福祉灯油の助成について検討していただきたい。

A 福祉灯油については、請願等が出てきた場合は議会としても協議をしてまいりたいと考えています。

市立病院について

Q **いわなび** 市立総合病院について、噂に聞くと建てかえた際、新病院を郊外に建てるという話を聞きましたが、今高齢者をまちなかに集めているのに新病院を郊外へと言うのはどのようなまちづくりの方法なのでしょうか。

A 市立病院について、噂はいろいろとありますが今現在調査をしている段階であるということをご理解いただきたいです。建てかえについてはさまざまな問題があるため、それらをクリアできる場所にする必要があると思っています。

Q **ほっとかん** 市立病院について、今後人口が減っていけば建てかえる際の規模が変わってくると思いますがいかがでしょうか。

A 病院に関しては今年度調査をするための予算がついてありますが、あくまで検討・調査中であり、いつ建てかえるのか等の話しはまだ決まっておりません。

ICTについて

Q **いわなび** ICTについて、この技術を農業だけでなく、例えば高齢者宅にタブレットを置いて医療機関と連携するなどもっと横断的に使えないものでしょうか。在宅医療などに使っていけるのではないのでしょうか。

A 将来的にはそういうふうになっていくのではと思っています。全国をみると大病院にiPad等で症状等を送って連携をしているというところもあると聞いています。岩見沢市もその辺はこれからの過疎地域の医療問題をどうするかというのは検討課題だと思っています。

現在ICTは農業だけでなく、除雪についても活用するなどしています。

これからはこの話を持ち帰り、どんどん進めていきたいと思いますという話をしたいと思います。

ご意見として **北村** 農家が1,200戸ぐらいから最終的に800戸近くまで件数が減少し1戸当たりの面積がふえていく中で、ICT農業も重要になってくる。

少し力を入れて、継続的かつ、少し予算もふやしていただければ助かります。

空き家について

Q **ほっとかん** 空き家について、ある空き家からネズミがすごく発生していると隣の住人から聞きました。町内会を通して市にお願いする形になると思いますが、そのような小さなことについてはすぐ市に対応してもらいたいです。

A 空き家は年々ふえており、平成30年10月末での管理不全な登録空き家は225件に上っています。市としても条例をつくり所有者に指導するということころまではいっていますが、所有者が不明等の場合もあり、空き家については非常に深刻な問題となっております。

Q **栗沢** 空き家の処理について、個人で全て処理しなければならいのでしょうか。市に寄付はできないものなのでしょうか。

A 個人の所有財産となるので個人で処分していただくことになります。

Q **北村** 空き家対策のことで、農業者が離農した後に、高齢になると田舎では暮らせなくなり、離れていきます。そうすると空き家と畑が残る。畑はいいが、空き家には住宅としての課税がされます。そうすると未納が発生するのではないかと思います。そういう宅地をそこに暮らさなくなった場合に、雑種地かその後引き継いだ農業者が一般畑として地目変更を速やかにできるような策を取るのが農業地帯を荒廃させない一つの方策かと思うので、ぜひ条例として上げていただければと思っています。

A 農地の移動はありますが、地目が宅地だと土地を買われる方も宅地まで買うということにはならない部分もあるかと思います。できれば農地を取得したときに一緒に宅地もまとめて買ってもらえるのが一番いいと思いますが、宅地ですから財産として持ちたい方もいらっしゃいます。個人の財産ですから、そういった部分では非常に難しいのかなと思っています。特に昔の人、入植した方々は道路から離れて宅地があります。そういった部分ではなかなかその辺の整理というのができないような状況のところがあります。

その他について

Q **いわなび** 岩見沢は福祉のまちというイメージでしたが、歩道の路面状況が非常に悪いです。街灯も色が揃っていなかったり、道路の片側しかついていないところもあります。

A 歩道の整備についてはどうしても除雪や雨水等の関係がある箇所もあります。ただ、その問題には関係のない場所については今後検討していく必要がありますので、市に要望を上げていきたいと思えます。

街路灯については今ほとんどLEDで設置していますが、過去には水銀灯やナトリウム灯を設置していました。町内会で電柱につける防犯灯はそれほど費用はかかりませんが、街路灯となると非常にお金が掛かります。街路灯設置についての補助金はありますが、一斉にかえるのは予算もあるので難しいです。今はアンバランスな所もありますが、計画的に進めてきているところです。また、場所によっては道道・国道もありますので道や国にも届けていかなければならないと思っています。

Q **ほっとかん** パークゴルフ場について、利用料が年会費で1人年間4,000円、夫婦であれば2人で6,000円ですが。来年度から値上げの予定のようです。そういうところに市から助成金は出ないのでしょうか。

A 幌向緑地のパークゴルフ場については、通常【無料】の公園施設を「パークゴルフ場」としてグレードアップし、その分の維持管理を「幌向プラザ委員会」の自主的な運営により利用者からの寄付金【募金】で行っており、覚書による自主的な運営管理を行う条件での許可のため、助成金の支出はできないとのこと。

Q **ほっとかん** 幌向第3号線踏切改修について、去年は給食センター前の踏切が完成次第順番のはずでしたが、その後返答がありません。3号線は小中学校の指定の通学路であるのかかわらず非常に危険であるため、早急にその件に力を注いでほしいです。

A 地域要望は道路管理者である北海道に伝達されており、現在、北海道とJR北海道で協議が進められておりますが、現時点では具体的なスケジュール等は示されておられません。

地域要望を踏まえ、早急な実施に向けて引き続き働きかけを行ってまいります。

Q **ほっとかん** 資料の重点施策のなかに少子高齢化対策というのがありませんが、人口推移をみると合併時は約95,000人で今は約87,000人です。毎年1,500人ほど減っているが少子高齢化対策はまちづくりにも影響しますので、この対策について、何か案が無いのでしょうか。

A 今回の資料に少子高齢化対策が入っていないのは、3年ほど前から人口ビジョン等の各種計画をつくっています。これは長期的な問題なので単年度単位の施策にはしておらず、今回の資料には載せておりません。

Q **ほっとかん** 幌向の2条5丁目交差点に横断歩道をつけてほしいと市にお願いをしましたが、優先順位が低いということで未だに解決されていません。市にお願いをして欲しいです。

A 平成29年に幌向第18町内会より要望を受理し、岩見沢警察署に伝達した結果、現状では設置が困難との回答を受けているとのことです。

Q **栗沢** 市の入札で予算よりも低い金額で落札された場合、その差額の予算はどのようになるのでしょうか。

A 予算は業者からの見積もり等で組まれますが、結果的に差額がでた場合は市の会計に残り、不用額として決算されます。

Q **栗沢** 岩見沢市内の民間企業と市の職員の平均給与、また市議会議員の報酬を市の広報に載せたらどうでしょうか。

A 市職員の平均給料や議員の報酬については毎年、市の広報に掲載されております。また、議員報酬は報酬審議会できちんと審議されております。

Q **栗沢** 霊園について、栗沢で平成3年に墓地を買いましたが、契約して3年以内にお墓を建てる決まりになっていたはずですが、隣の区画は27年経った今も未だに建っておらず、空き地になっています。そういうところがあるということを行政に連絡していただきたい。

A 担当課に確認したところ、合併前の栗沢町墓地設置及び管理条例第10条第2項には、「使用者が使用許可を受けた日から3年を経過しても使用しないとき」は、使用許可を取り消すことができる。」と規定されております。

当時は条例の規定があるため、使用申込時に3年以内にお墓を建てるようお願いしていたと思われませんが、一部にお墓の建立がないことを承知しているものの、永代使用料を納めている使用者を個々の事情がある中で、一律に使用許可を取り消しにするのは難しく、実際には使用許可の取り消しは行っていないとのこと。

Q **栗沢** 桂沢浄水場について、新しく建設される浄水場の建設スケジュールをお知らせください。また、先日の地震の際に断水はありませんでしたが、水道管の耐震化はどの程度進んでいるのかお知らせください。

A 新桂沢浄水場は桂沢水道企業団において平成33年3月の供用開始に向け、建設工事が進められています。

水道管の耐震化については予算を組み、古い管から順次耐震化を進めております。

Q **栗沢** 市の人口が減っている状況のなかで、何でも要望を聞き入れるのではなく、財政状況や規模に合った、将来を見据えた施策・PRをしていただきたいです。

A おっしゃる通り、これからはきちんと市民にお伝えして選んでいただくというようなことも必要かと思います。

Q **栗沢** 岩見沢市の職員にプロフェッショナルな方がいません。職員にとってはプラスではないかもしれませんが、状況がその都度変わる中で各部門のプロフェッショナルな方が必要だと思います。

A 行政事務が年々、多様化・複雑化する状況から、市では「専任職制度」を導入し、専門的な知識や経験を必要とする部門に庁内で職員を募集し、その中から選考して職員配置を行っており、現在は税務・福祉・農政の3部門に4人を配置し職員の養成を進めています。

また、職員の育成として内部での研修や自主研修に加え、外部の研修機関にも積極的に職員を派遣し、専門的知識の習得や政策形成能力の向上などを進め、担当職員の能力開発を図っているとのこと。

Q **北村** 今の北村支所はかなりスペースが広いと思います。今後、現状のままいくのか、議会として何か検討されているのでしょうか。

A 今、新庁舎を検討していますが、どういう利用をするか。これらは市民の声も大切でありますし、議会側もいろいろな意見が出ています。例えば支所を核として、地域づくりというものも考えていっていいのかなと思います。

Q **北村** 北村温泉で宴会をやった際、椅子席がないため、テーブルと椅子を何とかできないのかという要望があり、市のほうにも要請をしています。温泉は空知リゾートが指定管理していますが、テーブルと椅子の導入について、市の補助金である程度支援する形で、導入を早く図れないでしょうか。

A 空知リゾートが経営をする中で、そういう要望が実際に指定管理から出ているのかどうか聞いておりませんので、その辺はまたきちんと聞いていきたいと思えます。

ご要望として **いわなび** 民生委員、児童委員について、市から民生委員に地区の

所帯数を調べてほしいという依頼があったそうです。また、以前はバス券についても町内会長が配れない所は民生委員が配っていました。これらの業務は民生委員の行うことではなく、市の職員が行うべきだと思います。

ご意見として **ほっとかん** 昔でいう雇用促進住宅はかなり前から空き家となっています。道の物ではありますが、それを整備して胆振東部地震で仮設住宅に住んでいる人に住んでもらう方法や、岩見沢にいる学生に住んでもらう考え方をもらうなど、再利用した方が良いのでは。

5. アンケート集計結果

●実施日 平成30年11月21日（水）

●来場者数 4会場合計 56名

①生涯学習センター いわなび	12名
②北村環境改善センター	30名
③栗沢文化センター	6名
④幌向総合コミュニティセンター ほっとかん	8名

●アンケート回答者数 54名（回収率96.4%）

■今回の意見交換会について■

Q1 皆さまについてお聞かせください。

年齢（参考：アンケート回答者53人の平均年齢 61.9歳）

答え	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
人数	4	6	10	17	12	4	1

性別 A 男性 B 女性

答え	男性	女性	無回答
人数	49	5	0

Q2 今回の開催について、どのようにお知りになりましたか。 ※複数回答あり

A 市議会ホームページ B 市議会だより C 意見交換会ポスター D 知人
E 新聞など F その他

答え	ホームページ	議会だより	ポスター	知人	新聞など	その他	無回答
人数	4	23	12	12	0	9	1

F その他で記載のあったもの

- ・議員からの紹介
- ・地区協ふれあい会議
- ・町会、町会長より案内
- ・回覧チラシ

Q3 参加しようと思ったきっかけは。 ※複数回答あり

A 市議会に関心がある B 報告内容に興味がある C その他

答え	市議会に関心がある	報告内容に興味がある	その他	無回答
人数	17	27	10	3

C その他で記載のあったもの

- ・ちょっと関心があり
- ・町会役員として
- ・町連より誘い

Q4 参加した感想についてお聞かせください。

今回のテーマ（報告内容・意見交換）について

A 良い B 普通 C 悪い D その他

答え	良い	普通	悪い	その他	無回答
人数	12	33	0	1	8

日時の設定について（日時・会場別）

A 良い B 平日昼間 C 平日夜 D その他

答え	良い	平日昼間	土日昼間	その他	無回答
人数	35	3	7	5	4

D その他で記載のあったもの

- ・多くの市民が参加出来るように設定の変更を
- ・18時くらい

会場の設定について

A 良い B 悪い C その他

答え	良い	悪い	その他	無回答
人数	46	0	2	6

C その他で記載のあったもの

- ・車の駐車しやすい場所
- ・できればもっと多くの会場で

今後の開催について

A 必要 B 必要ない C わからない

答え	必要	必要ない	わからない	無回答
人数	45	0	2	7

- Q5 今後、どのような意見交換会、報告会等があれば、参加したいと思いますか？
- ・参加したいです。
 - ・輪になってまたは一緒にテーブルで（話しやすくしたほうが良い）。
 - ・意見交換する事項の選定をしては
 - ・女性対象意見交換会等、対象者を限定した意見交換会を設定してみてもどうか
 - ・継続してほしい
 - ・市の重点的課題に対して市議会としての対応と課題（お金のない話はしない）（議会だよりの中でわかるが？）
 - ・一般論ではなく地域の問題をテーマにして欲しい。
 - ・幌向地区の問題点を中心に話し合いが必要である
 - ・皆様かなり勉強しているなど考えられる。関心がある。
 - ・市全体の報告は良いと思うが、地区の課題、諸問題についてより深い意見交換ができれば良いと思う。
 - ・地域に合った身近な話題
 - ・今後とも長く続けてもらいたい。現時点は何もないけど、細かい点があれば聞くこともできるから。
 - ・女性の参加が少なかった。それは時間帯なのか、ちょっと残念です。
- Q6 今回の報告会でお気づきの点や発言できなかったことなどありましたらご記入下さい。
- ・参加者が少なく感じます。
 - ・発言ができなかったのですが、介護職やヘルパーになる方が減ってきて福祉を支えることができません。何か行政で対策を考えてください。
 - ・多くの市民の意見を多く聞く工夫をしてもらいたい（交換会の持ち方）。
 - ・地域の細々とした話題が多く、まちづくり、市民生活等議員さんが本来進める市の骨格部分の議論が少なかったと思う。
 - ・ふるさと納税の有効利用～今後の有効性がよくわかった。
 - ・市長の市政懇談会とは違う、議会活動に対する質疑をポイントとするべき。市の立場でご答弁するのは無理があると思います。
 - ・今後とも議員、議会として何ができるか考えながら進めてください。
 - ・ICT補助事業の継続

■岩見沢市議会について■

Q7 これまでに市議会（本会議・委員会など）を傍聴したことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	13	40	0	1

Q8 これまでに市議会だよりを読んだことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	52	1	0	1

Q9 定例会開催案内ポスターを見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	31	22	0	1

C ご意見に記載のあったもの

- ・見たことがなく、わからない。

Q10 本会議のインターネット中継を見たことはありますか。

答え	はい	いいえ	ご意見	無回答
人数	10	43	1	1

記載のあったもの

- ・録画もあるようですが、日中は多忙

Q11 その他、岩見沢市議会へのご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

- ・活断層は地震による大きな被害を生み出す要素であるにも関わらず、市新庁舎も活断層の上に建てるのは何も学んでいない。コンパクトシティを目指すのであれば市役所も分庁化して市民に寄り添う場所として機能するために考えてほしい
- ・もっと若い議員をふやした方がいいと思います。
- ・市街地区歩道の整備
- ・弱者にやさしい市の施策、道路、除雪等
- ・街灯の明るさ（通りにより大きな差がある）
- ・空知の中心都市にふさわしいまちづくりに取り組んでもらいたい
- ・駅舎についての要望
 - 一般の車の送迎駐車スペースが狭い（タクシー乗り場と交換）
 - 駅名、時計が見えない（大きく見やすく、中心に）
 - エスカレーターが狭い（特に上り）
 - 待合室が狭い
 - イベント広場はコミセンに移し待合室を広げる
 - 下の売店をもっと入りやすく工夫する
- ・本会議の日時はポスターで知ることができますが、委員会の日時もポスター等で知らせてほしい
- ・一般質問が終わるたびに傍聴者に質問や意見がある方に聞く等してほしい

- ・議員の方が5名、住民8名、議会に対して関心がないと思われる。もっと身近な議会であってほしいと思います。
- ・市になんでもやってくれの時代でないと思うが。
- ・市としての行政上の報告をするという機会を、市議会議員団としての方向性《市に対して何を訴え、何を実現させるか》を考えてほしい。
- ・議会改革の歩みは止めないで頂きたいものです。議会としても議会が議員・市理事者・傍聴人たる市民の三者で成り立っていることを十分認識して頂きたいものです。
- ・近年、天候不順により大雨が多くなり石狩川の築堤は良くなり氾濫の危険は少なくなりました。しかし、内排水の川は基盤整備により排水が良くないため、川の水位が上り、田畑に水がつく危険が多くなった。川の浅い面の老朽化より水の流れが悪くなってきている。そういう場所の整備をお願いしたい。
- ・認識の違いが何点かありましたが、今後ともお互いに一致する努力が必要だと思います。
- ・北村豊正地区に住んでいるのですが、水道の水圧が極端に低いので改善してほしい。
- ・保育所の登所届けについて、感染症になると必ず登所届けを出さないといけないのですが、元気に治っているのに登所届けを病院に取りに行かなければならないので、登所届けが必要でない感染症がまだあるのではないか。逆に病院の先生から登所届けは要らないのではないかとと言われる（胃腸炎など）。

6. 資料

開催状況写真

〈【1班】：生涯学習センター いわなび〉



〈【2班】：北村環境改善センター〉



〈【3班】：栗沢文化センター〉



〈【4班】：幌向総合コミュニティセンター ほっとかん〉



〈開催告知ポスター〉

岩見沢市議会広報広聴事業

市民との意見交換会

11月21日(水)18時

以下4会場にて、議員21名が4班に分かれて同時開催いたします。

- ・生涯学習センター いわなび
- ・北村環境改善センター
- ・栗沢文化センター
- ・幌向総合コミュニティセンター ほっとかん

※駐車場は施設駐車場、もしくは近隣の提携駐車場をご利用ください。
※どなたでもご参加できますので、お気軽にご参加ください。

前回開催：5月15日の様子



※上記2箇所の他に、日の出コミュニティセンター・南コミュニティセンターの計4箇所で開催いたしました。

【お問い合わせ先】
〒068-8686
岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号市役所庁舎3階
TEL0126-23-4111 (内線 463)
FAX0126-25-5503 (直通)

ホームページ

岩見沢市議会

検索



YouTube



※過去の定例会、臨時会の録画映像をご覧いただけます。

7. 最後に

岩見沢市議会広報広聴事業 市民との意見交換会を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成26年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成28年度からはより意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

6回目となる今回は、前回と同様、参加しやすい環境づくりを目指し、開催場所を4カ所設けましたところ、多くの皆様にご参加いただきました。皆様から市政に対し多様なご意見・ご要望をいただけた事は有難く、今後の議会としての活動に向けて大きな意義を持つものでありました。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制のもと、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できる様に務めてまいります。

御協力を賜りました事に厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長
井 幡 修 一